

令和6年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号	2990300093	事業開始年月日	2012年9月1日
法人名	社会福祉法人 協同福祉会		
事業所名	あすなら苑 安心ケアシステム		
事業所所在地	(639 - 1126)		
	奈良県大和郡山市宮堂町字青木160番 7		
電話番号	0743-58-4165	FAX番号	0743-57-6133
施設等の区分	一体型	サービス提供地域	大和郡山市
自己評価作成日	2024年6月12日		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りから子どもまでみんなが安心して暮らせる地域を願い7つの目標がある、あすなら10の基本ケアの定着を目指している
事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・10の基本ケアをもとに自立支援をめざす、その方の尊厳を維持し可能な限り有する能力に応じ、安心して日常生活を営むことができるよう支援する

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		コメント
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等 の在宅の継続」と「心身の機能の維持 回復」を実現するため、事業所独自の 理念を掲げている	○				「お年寄りから子どもまで、みんなが安心して 暮らせる地域や街であってほしい。それが私た ちの願いです。」を基本目標に、地域の困っ ている方を支えるサービスを行っている。	貴見の通り
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴 および事業所の理念について、その内 容を十分に認識している		○			入職時や研修にて、理念や当該サービスにつ いての理解及び周知をすすめている。	貴見の通り
		3	運営者は専門技術（アセスメント、随 時対応時のオペレーターの判断能力な ど）の向上のための具体的な仕組みの 構築や、法人内外の研修を受ける機会 等を確保している			○		法人内研修で技術の向上を図っている。法人外 研修については、十分とはいえず、確保でき るよう努力している。	・1人1人のスキルアップを事業所内 でも出来ていますか。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント		
				実施状況					コメント	
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
		4	管理者はサービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			訪問サービスの指導・教育を行い配置している。初めての訪問等、都度同行するようにして現状の把握に努めている。	貴見の通り	
②	介護職・看護職間の相互の理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			月に数回、多職種で話し合う場があり、認識の共有を行う。ICTの活用でタイムリーに把握することができるようになっている。	貴見の通り	
(3) 適切な組織体制の構築										
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材の配置（業務・シフトの工夫）を行っている			○		利用者の自立した生活を支えられるケアが行えるように、人材の配置を検討、体制づくりをしている。夜間の訪問が増え、随時対応に時間を要することがある。	・夜間訪問が増えており、対応に時間を要することに対して、今後どのように対応していくのか	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）をサービスの提供等に適切に反映されている			○		介護で得られた貴重なご意見や助言を、ヘルパー会議などスタッフ間で共有し、改善点を話し合い、ケアに反映している	貴見の通り	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		コメント
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			状況は刻々と変化するものであり、その時に応じ、記録・指示簿・ガルーン等で情報の共有・パレット（記録ツール）の更新を行って、又紙媒体の会議録はファイルにとじて確認できるようにしている。	・サービス内のスタッフより情報が伝わってこない等聞くこともあります。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策がこうじられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			月1回、安全衛生委員会の開催、地震・火災を想定した避難訓練の実施。ヒアリハット・事故報告・苦情改善を毎月実施し、振り返っている。交通ルールを遵守しアルコールチェックは毎日実施。交通安全講習会を行い、啓もうに努めている。	貴見の通り
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護についての研修を行い、スタッフへの周知に努める。契約時には、別記として詳しく、取り扱う個人情報の利用目的を利用者・ご家族にお伝えし、了解を得れるようにしている。	貴見の通り

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		コメント
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアクセスの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者の生活・大切にしていること、家族内の役割等、人物像としてアセスメントし、効果的に援助ができるよう心掛けている。	・夜は基本眠るという体制が守られていますか。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			日々のケア提供時に必要な情報は、介護看護職全員で共有している。利用者に応じた注意点・ポイント等もケアの中での気づきが反映できるよう申し送る。	貴見の通り
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来型志向」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			利用者のできること、自立に向けたケアが大切。生活リハビリ＝10の基本ケアに基づくケアを行うよう計画する。	貴見の通り

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
		14	重度化しても医療依存度を高めすぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			暮らしの中でのリスクや持病からくるリスク等様々な観点から変化を予測し、状況に応じた計画に変更している。	・利用者や家族からのクレームや意見をその一点だけではなく背景まで察して対応してほしいです。利用者や家族は遠慮がちで言いたいことが言えず声に出せていない人も多いです。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			利用者の体調や状況の変化があった場合、随時対応や訪問、TV電話等の活用等、適切に対応できるよう努めている。	貴見の通り
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			訪問の場面だけでなく、生活の様子から変化を把握できるよう、各スタッフと情報の共有をし、モニタリングに反映する。	貴見の通り

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するために、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				各専門職で視点やケアの方法の違いもあり、一人の利用者を支援するため、協力し合っている。	・介護側からの情報を看護側に伝えることは出来ていると思うが、看護側からの注意点やヘルパーへの指導は出来ていますか。見通しを含めて。
①	看護職によるサービス提供に関わる指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				利用者の必要な事柄に関し、適切に指導・助言を行っている。	貴見の通り
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービスの趣旨等について説明し、了承して頂き、サービス開始している。サービス開始後についても、問い合わせに関して都度説明しフォローしている。	貴見の通り

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			目標や内容について、具体的に伝えることで、理解を得れるようにしている。	・家族へ連絡等はしてくれていると思うのですが、伝わったかどうかの確認は出来ていますか。対応する者によって伝え方がまちまちということはありませんか。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			状況の変化やサービスの変化は適時行っている。直接対面できることもあれば、遠方にて電話連絡、連絡ノート活用することもある。	貴見の通り
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同生活ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況変化についての、ケアマネジメントとの適切な情報共有及びケアプランセンターへの積極的な提案	22	ケアマネージャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る方法が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			サービス担当者会議や打ち合わせ等で話し合い共同で決定している。	貴見の通り
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内へのフォーマル・インフォーマスサービスの活用等を含む）が行われている			○		利用者に合わせた目標達成ができるための提案を行うよう努めている。	貴見の通り

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント		
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			事業所内で行い会議で意見をまとめ、課題の整理を行ない、担当者会議に参加している。	貴見の通り	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントの貢献										
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサービスについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討後行われている（※任意評価項目）		○					
		26	病院・施設への入院・入所及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○				

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信及び提案

①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			法人内のホームページで議事録の発信を行っている。又、必要に応じて書面での閲覧も可能になっている。	貴見の通り
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			安心ケアシステムのサービスの理解を得るため、毎日地域での広報活動を行っている。	貴見の通り

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		コメント
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等に掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			大和郡山市が目指す事業計画について、研修の中で確認し、職員への周知に努めている。令和6年～令和8年まで第39期計画も発表されているため、更なる周知に努める。	貴見の通り
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			特定の建物等への訪問はなく、中学校を中心に地域へ積極的に訪問活動の展開をおこなっている。	貴見の通り
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題に認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）		○				

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
III結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			最期の迎え方について、サービス担当者会議等で話し合いがなされ、ゆくゆくは自分で最期を迎えたいという方も以前より増えている。今日どのように過ごし、結果最期の時を迎えるまで、どんな生活をしたいか具体的な目標をひとつずつみ重ねている。	・具体的な目標計画とは、計画書として作成しているものがあるのか
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			「あすなさんがいてくれるので安心です」とのお言葉を頂き、ケア実践する励みとなっている。いい声だけでなく、不安や不満の声にも耳を傾け、日々のケアに反映したい。	貴見の通り